

令和元年度第2回

横浜市技能文化会館指定管理者選定評価委員会

次 第

日時：令和元年6月27日（木）午前10時00分から

場所：横浜市技能文化会館 5階特別会議室

1 開 会

2 審 議

（1）施設視察

（2）指定管理者へのヒアリング

（3）意見交換

3 そ の 他

4 閉 会

横浜市技能文化会館指定管理者選定評価委員会委員名簿

(敬称略 令和元年6月27日現在)

	氏 名	所 属
	蟹澤 宏剛	芝浦工業大学工学部建築工学科教授
	小島 貴子	東洋大学理工学部生体医工学科准教授
	武田 圭子	武田税理士事務所 (税理士、中小企業診断士)
委員長	中條 祐介	横浜市立大学理事 副学長
	及川 伊東志	神奈川県和服裁縫協同組合副理事長

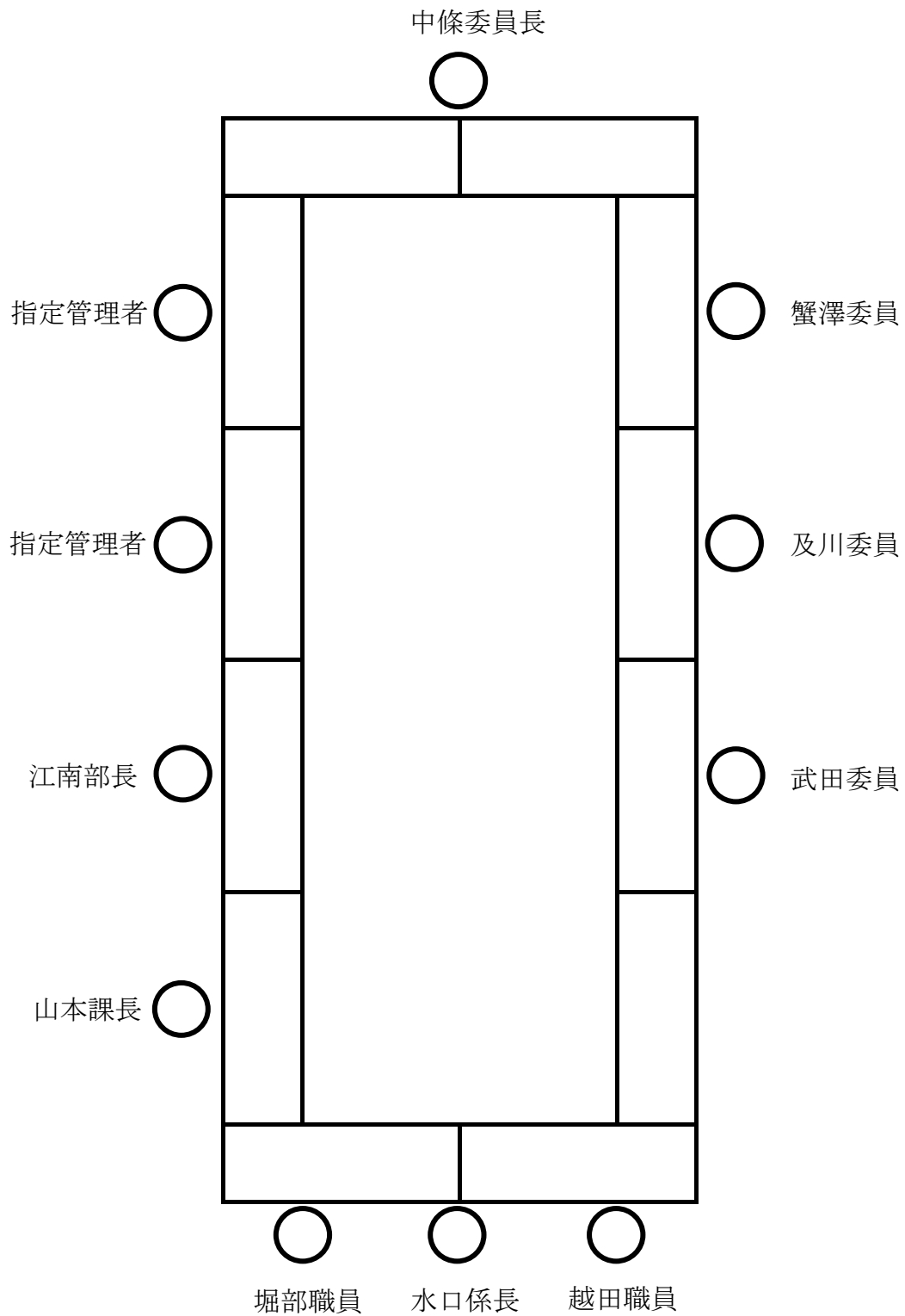
任期：平成30年8月8日から平成32年3月31日まで

令和元年度第2回

横浜市技能文化会館指定管理者選定評価委員会 座席表

令和元年6月27日

技能文化会館5階特別会議室



出入口

横浜市技能文化会館指定管理者第三者評価 業務評価表

＜評価の基準＞ A:協定書等の水準を上回る状態 B:協定書等の水準を満たす状態(標準) C:協定書等の水準を下回る状態(改善が必要)

評価項目			指定管理者記入欄		委員コメント	評価点	
大項目	小項目	業務の内容	具体的な取組	自己評価点			
1	管理施設及び附帯設備の利用の許可等に関する業務等				A		
		(1)	利用申請受付・利用許可及びその他の利用に関する対応	<ul style="list-style-type: none"> ・「横浜市市民利用施設予約システム」を活用し、施設の利用申請の受付・利用許可について、適切に管理する。 ・受付業務として開館時間中1名以上を配置し、利用者サービスに支障ない人員体制とする。 ・利用の手続きの方法について書類を作成し、市長に提出する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・予約システム登録内容を事前に確認し、附帯設備利用の漏れがないか、重複予約がないか等、スムーズな利用の促進を図っている。 ・常時2名以上のスタッフを配置し、正確・迅速な手続きと利用者との交流に努めている。利用許可においては、書面と口頭で複眼、復唱の確認を行ったうえで、料金徴収を行っている。 ・「予約システムガイドブック」の常時配架に加え、会館リーフレットおよびHPで利用の流れと利用案内を広報している。初めての利用者にはシステムの解説および館内案内による安心感を共有し、新規利用に繋げている。 	A	
		(2)	利用料金の徴収	利用者から徴収した利用料金に関する帳簿を作成し、管理する。	<ul style="list-style-type: none"> ・1日2回、利用料金の確認を行い、毎日「現金残高確認票」を記入している。また、複眼での確認により正確な管理を行っている。 	B	

評価項目			指定管理者記入欄		委員コメント	評価点
大項目	小項目	業務の内容	具体的な取組	自己評価点		
2 事業に関する業務	(1) 技能職振興に関する業務			A		
				A		
		ア 「匠プラザ」を活用した技能職振興事業の企画等 重点	<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度は、大人向け技能職講座「匠の学校」「横浜マイスター塾」を42回開催し、403名の方が参加された。 ・神奈川県洋装組合連合会ご協力の「洋裁クラブ」を、平成30年度は毎月3回ずつ開催し、330名の方が匠プラザで洋裁を存分に楽しまれている。 	A		
		イ 技能職団体・技能職者への活動支援又は支援事業 重点	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども向け夏休み体験教室「匠の小学校」は6回目の開催となり、平成30年度は過去最大の1,900名の方に来場いただいた。 ・販売事業「技文市」では、マイスターや技能職団体製作の商品を販売し、技能職のアピールを行っている。 ・商品製作や小規模修繕の相談を行い、発注の機会を創出している。 	A		
		ウ 技能職者や技能職団体の交流を図る事業	<ul style="list-style-type: none"> ・「よこはま技能まつり」および「横浜マイスターまつり」の広報活動（会館利用者への告知、ホームページ掲載）を積極的に行い、イベント集客に協力した。 ・よこはま技能まつりのポスターおよびチラシの製作協力に加え、当日のステージイベントに利用者が出演するなど、連携策を創出した。 	A		
		エ 技能文化に関する情報等の収集及び提供	<ul style="list-style-type: none"> ・「匠の小学校」当日にJ:COMカメラ取材が入り、デイリーニュースで放映されるなど、技能職振興のアピールに繋がった。 ・「ハマの職人」に取材を行い、ホームページで職業および人物の紹介を行っている。 	B		

評価項目			指定管理者記入欄		委員コメント	評価点
大項目	小項目	業務の内容	具体的な取組	自己評価点		
2	事業に関する業務	(2) 雇用による就業の機会の確保に関する業務			A	
			重点 ア 雇用及び就業並びにキャリアカウンセリングに関する相談業務(弁護士相談を含む)	・労働相談、就業相談、キャリアカウンセリング、弁護士相談、がん患者の就労相談を実施し、平成30年度は1,819名にご利用いただいた。相談員は法令や判例など、知識の共有や意見交換をはかり、継続して良質な相談業務が行えるよう日々研鑽を行っている。 ・女性相談員による女性のためのキャリアカウンセリングを落ち着いた環境が提供できる休日に設定して開催した。	A	
			重点 イ 就職支援セミナー・労働実務セミナー及び自主事業の企画実施に関する業務	・自主開催の就労支援セミナーは継続して年間51回開催し、平成30年度は1,177名に参加いただいた。毎月定期的実施していることで、ハローワークをはじめとした関連機関からの紹介が多くなっている。労働実務セミナーは、年間4回開催。相談員による相談事例に基づいたテーマや、身近な話題を取り上げ参加者の役に立っている。 ・合同就職面接会を30年度3回開催し、継続して求職者と企業のマッチングの場を提供できた。	A	
			ウ 情報コーナーでの雇用及び就業に関する情報の収集・提供及び管理運営に関する業務	・主に応募書類作成のため、パソコン利用を中心とした情報コーナー利用者は、平成30年度は年間7,667名となった。女性利用が4割に伸長した。 ・パソコン本体のバージョンアップ、図書スペースに衝立設置など、継続して快適に利用できる環境の整備を行った。	B	
		エ 「横浜しごと支援センター」に関する広報業務	・市内・県内のハローワークをはじめとする関連機関に、平成30年度は380回出向き、情報共有とセンターPRを積極的に行った。 ・購読希望者にメルマガ「しごと通信」の配信を新規に開始した。 ・利用しやすい機関であることを、HPに掲載した「セミナー参加者の声」を通じてアピールした。	A		

評価項目			指定管理者記入欄		委員コメント	評価点
大項目	小項目	業務の内容	具体的な取組	自己評価点		
2	事業に関する業務	(3) 勤労者の福祉の増進及び文化の向上に関する業務			A	
			ア 技能文化会館の施設を利用した勤労者の福祉増進に寄与する事業の企画・実施	<div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">重点</div> <ul style="list-style-type: none"> ・自主事業として継続して「くらしの学校」「キャリアの学校」の企画・運営を行った。平成30年度は年間324回の開催で3,470名の方に参加いただいた。根強い人気のパソコン教室は、パソコンのバージョンアップを行い、より快適な環境での受講にも注力した。 ・平成30年度は「技文手づくり市」を継続して2回開催し、90組の出店があった。出店者同士の交流の場にもなり、出店者同士で新たな取組を開始したケースも見られた。 	A	
			イ 勤労者向けの各種福祉事業との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・キャリアの学校は、ハマふれんどとの連携で、市内中小企業に向けて広報を行い、集客強化となった。参加者が社内や知人に口コミするなどの発展も創出された。 	A	
			ウ 勤労者が実施する事業への支援	<ul style="list-style-type: none"> ・市民講師の講座を支援、その後、自主事業主催の講座となるケースが創出され、市民活動支援となっている。 ・馬車道商店街主催の「馬車道まつり」に継続して出店協力を行った。継続することで、リピート利用も増え、技能文化会館認知度向上にも繋がっている。 	A	

評価項目			指定管理者記入欄		委員コメント	評価点	
大項目	小項目	業務の内容	具体的な取組	自己評価点			
3	施設の管理に関する業務				B		
		(1)	保守管理業務	<p style="text-align: center;">重点</p> <p>日常・定期点検等の適切な実施を通じた建築物・建築設備・付帯設備・備品の適正な保守・管理</p>	<ul style="list-style-type: none"> 三菱電機ビルテクノサービスと連携し、建築物・建築設備ともに管理を行い、年間の修繕計画を基に適切な修繕に加え、突発的な修繕にも迅速に対応した。 経年劣化の進む設備・備品・什器の適切な交換を行い、廃棄を含めた処分により館内の環境整備を行っている。 ESCO事業譲渡を踏まえ、照明のLED化の計画を進めている。 	B	
		(2)	環境維持管理業務			B	
			イ 保安警備業務	<p>施設の環境衛生管理及び保全</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設の環境を維持し、快適な環境を保つ <p>ア 施設を安全かつ安心して利用できるよう、建築物や設備等の破損及び汚損に対する予防保全に努める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 定期的な清掃・害虫生息調査・水質検査を実施し、館内の美化、環境整備に努めた。 利用者アンケートでは、「トイレがきれい」との声が多く聞かれる。古い設備ではあるが、キレイに使用されているたうえ、清掃が行き届いている印象を与えている。 	B	
			ウ 防災等	<ul style="list-style-type: none"> 来館者が快適かつ安全に利用できるよう警備にあたるものとする。 <p>ウ 防災等</p> <ul style="list-style-type: none"> 消防法に基づく防火管理者の選任等により、定期的な防火・防災訓練を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> 夜間スタッフの情報共有のため、継続して夕礼を実施し、責任の所在を明確にすることでセキュリティ意識強化を図っている。 	B	
			<ul style="list-style-type: none"> 消防立入検査による指摘の対策をとっている。 平成30年度は年間2回の非常時訓練を行った。消防立ち合いの応急や消火器使用の実践研修も実施した。 館長を統括防火管理者に選任し、テナントの防火管理者選定など、防火・防災活動を連携して行っている。 	B			

評価項目			指定管理者記入欄		委員コメント	評価点	
大項目	小項目	業務の内容	具体的な取組	自己評価点			
4	指定管理の実施により達成すべき目標等				A		
		(1)	自主財源の確保及びコスト削減に関する取組	<ul style="list-style-type: none"> ・自主事業の拡充を積極的に行った。講座開講数は過去最大であり、平成30年度は技文全体の収入の11%を占め、貸室・駐車場・自主事業の3本柱に成長している。 ・支出発生の際は、必要性和代替案を考慮のうえでの支出とし、費用縮減に努めている。 	A		
		(2)	サービス向上に関する取組	<p style="text-align: center;">重点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エレベーターホールなど共有部分の安全対策およびコスト縮減の一環としてLED照明化を推進した。 ・1階および2階ホール周辺の館内フロアサインを刷新し、ユニバーサルデザインによるわかり易さを打ち出した。 ・3階しごと支援センターの相談室増設、冷暖房効果向上のためのアコーディオンカーテン設置、パソコン本体の入替など環境整備の向上を図った。 ・重要附帯設備である6階陶芸窯のメンテナンスにより、安全性の確認を行った。 ・貸室用附帯設備の拡充と常設化を図り、快適な利用環境の提供に努めた。(例:1階に捕虫器設置、料理室用電子レンジ・ミキサーの更新) ・スタッフの多能化を目指し、担当外の業務の一次窓口となれるよう業務勉強会を実施した。 ・スタッフによる貸室の大掃除を行い、利用者側目線を養うと同時に、整理・整頓・清潔を強化した。 	A		
		(3)	コンプライアンスの徹底	<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報の保護 ・人権尊重 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報管理研修を実施し、個人情報の取り扱い、緊急時の対応方法などの徹底を図った。 ・保管書類の整理を行い、不要書類の廃棄・整頓を実施した。 ・泉区福祉保健センター長を講師として「高齢者の人権」をテーマに研修を行い、人権尊重の意識共有を図った。 	B	
		(4)	貸室の利用率(稼働率)の向上	指定期間(5年間)での目標 65%	<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度は62.6%にとどまった。夏の猛暑、10月以降に近隣施設の改修が終了したことなどの影響と考える。 また、午前、午後の平均利用率は72.6%と高い数値を維持しているが、夜間42.7%とのバランスが課題である。 	B	
(5)	会館の認知度向上のための情報発信・広報活動		<p style="text-align: center;">重点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・区役所・図書館・公共機関への定期的なチラシ配架を継続し、情報が途絶えないよう努めた。平成30年度は、延べ1,058箇所にてチラシを配架した。 ・平成30年度は、SNS発信471回を実施し、子育て世代や若年層への広報強化を図った。 ・メルマガ発信を継続し、平成30年度は年間36,795通の配信を行った。7月10日号で100号となり、記念アンケートとプレゼント企画を実施。読者からは励みになる多くのコメントを寄せていただいた。 ・平成30年度は、新聞折込チラシ、ハマふれんどNews、よこはま技能まつりチラシの計671万部への会館事業掲載を行った。認知度向上に繋がり、自主事業の集客が順調に進んだ。 ・HP掲載作業、チラシ製作・印刷などの大半が自前により行っており、タイムリーで親しみやすい情報が提供できた。 	A			

評価項目			指定管理者記入欄		委員コメント	評価点	
大項目	小項目	業務の内容	具体的な取組	自己評価点			
5	その他の業務				B		
		(1)	事業計画書等の作成	<ul style="list-style-type: none"> 事業計画書及び収支予算書の作成 事業報告書及び収支決算書の作成 	期日までに事業計画書および事業報告書を作成し、提出した。	B	
		(2)	業務実施状況の確認	連絡調整会議の実施及び必要事項の随時報告	毎月、月次報告ほか各種報告書を作成し、提出した。	B	
総合コメント(委員記入欄)							

令和元年度
第2回横浜市技能文化会館
指定管理者選定評価委員会資料

指定管理者としての取組みについて

指定管理者
パーソル テンプスタッフ株式会社

横浜市技能文化会館の指定管理者としての取組について

- 平成28年4月より第3期指定管理者として、技能文化会館の運営をさせていただいております。働くスタッフの大半が第2期中より継続勤務をしており、継続による力の発揮がなされた8年であったと実感しております。
- 3つの事業（技能職振興・勤労者福祉と文化の向上・雇用による就業機会の確保）を異なる3つのフロアで行っていることで、働くスタッフの多能化と総合力発揮も進めてまいりました。
- 業務においては誠実に向き合い、行政・関係者、地域・利用者、私どもが三位一体となるよう、良好な関係性の維持に尽力いたしました。

①貸室事業

- 「顔の見える運営」として常に受付カウンターにスタッフがおり、声をかけやすい、利用しやすい雰囲気的大事にしております。それにより、利用者交流も進みやすくなっています。
- 独自のシステムを用い、正確で迅速な事務処理を継続しています。
- 利用率向上を目指し、右肩上がりの利用率にしてまいりました。しかしながら、平成30年度は初めて前年を割る利用率となりました。利用者の高齢化、新設や改修済み施設に転出、利用希望が多い午前・午後の利用率が70%超と高いために「予約しづらい」という印象を持たれ、利用者が他施設に転出したケースもありました。
- 1日約800名の方にご利用いただいておりますが、大きなトラブルや事故もなく、良識ある利用者の皆様に支えられながら、安定運営がなされていることに感謝しております。

②雇用による就業機会の確保（横浜しごと支援センター）

- センター相談員が相談事例をもとに、労働実務セミナーを開催し、経営者と労働者の双方に役立つ内容で好評いただいています。
- 就労支援セミナーを毎月必ず開催、年間48回実施しています。それにより、関係機関からの紹介でセンターを知り、利用してくださる方が多数います。
- がん患者の両立支援として、相談窓口を設置していますが、専用の相談室を増設し、電話相談も開始しました。未だ、利用人数は少ないものの、病院以外での相談窓口として、より周知に努めていきたいと思っております。
- セミナーおよび情報コーナーを利用する女性が増えました。また、女性カウンセラーによる女性のためのキャリアカウンセリングも開催し、好評いただいています。

③自主事業

- 技能職振興の一環として、夏子ども体験教室「匠の小学校」を継続開催しています。平成30年度は13団体にご協力いただき、100名の職人の皆様より子ども達に、手づくり・ものづくりをご指導いただきました。来場者数は過去最大の1,900名となりました。
- 大人向けものづくり講座の「匠の学校」では、アイロンがけ、豆腐づくり、ペンキ塗り、洋裁クラブを定期開催しており、延べ507名の方に参加いただくなど、参加者が年々増加しています。「横浜マイスター塾」は毎回満席となり、参加者からの期待が大きい講座です。
- 継続して人気の「くらしの学校」シリーズは192回実施、2,400名の参加となりました。「キャリアの学校」および「パソコン教室」は132回実施、1,070名参加と飛躍しました。ハマふれんど様との連携が功を奏しています。

④施設管理

- 平成29年度に、802大研修室の机を入替え、特別会議室の椅子・机の入替と大型テレビ常設などの利便性向上を図りました。また、料理研修室のガス台、水道（水栓）、電子レンジなどの更新も行い、衛生的で効率的な環境を整備しています。
- 館内の照明が暗いとの印象が強いため、共有部分のLED照明化を図り、安全性も確保しました。
- 避難訓練やAED・消火器扱いなどの消防研修を年2回実施し、安全性に対するスタッフの意識向上に繋がっています。また、毎年9月には利用者向けに「シェイクアウト」を実施し、非常時対応の向上に努めています。
- 一部の館内表示にユニバーサルデザインを取り入れ、利用者が迷わないよう工夫しています。

⑤情報発信・広報活動

- Webと印刷物によるタイムリーな情報提供に努めています。
印刷物はスタッフが作成、印刷まで行うことで、タイムリーで温かみのあるものが出来るうえ、コスト縮減にも繋がっています。
- 年間36,000通超のメールマガジンを継続配信、新聞折込の活用、ハマふれんどNews掲載、SNS活用、メディアへの情報提供など、こまめな発信を怠らず、自主事業においては、効率良い集客に繋がっています。
- 外壁のガラスケースや、正面玄関の風除室など、美化とメンテナンスに努め、愉しめる会館をアピールしています。
- 販売事業「技文市」の定着が進んでいます。技能職者の作品をはじめ、横浜ゆかりの「杉田梅」シリーズなど、ここでしか買えないものを扱っていることが強みです。